



近畿地方整備局 紀南河川国道事務所 北山村役場 立教大学 資料配布	配付日時 平成27年 8月 7日 14:00
--	------------------------------

件名	「道の駅」おくとろ 夏期休暇に大学生の実習を行っています！ ～若者との交流による新たな価値創出が期待されます～
----	---

概要	<p>○国土交通省では、地域の観光資源や魅力が集まっている「道の駅」を、観光振興や地域づくりを学ぶ学生の課外活動や就労体験の場として活用することを進めています。</p> <p>○この度、全国「道の駅」連絡会が協定締結大学と実習受入れ「道の駅」との調整を終え、道の駅「おくとろ」で夏期休暇を利用して立教大学の学生1名が実習を行っておりますのでお知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none">・実施道の駅 「道の駅」おくとろ・実習人数 1名（立教大学生）・実習期間 H27.8.3(月)～H27.8.22(土) <p>○本取組では、若者が有するHPやSNS等の技術力、若者ならではの視点やデザイン力、行動力を活かして、道の駅を通じた地域活性化が図られるとともに、実習を通じて、将来の地域づくりや観光を担う人材が育成されることを期待しています。</p>
----	--

取扱い	—————
-----	-------

配布場所	和歌山県政記者クラブ 和歌山県政放送記者クラブ 和歌山県地方新聞記者クラブ 田辺記者クラブ 新宮中央記者会 新宮記者クラブ
------	---

問合せ先	国土交通省 近畿地方整備局 紀南河川国道事務所(0739-22-4564) 副所長 吉村 英二 道路管理課長 本田 明 北山村役場 (0735-49-2380) 観光産業課長 田岡 富泰 立教大学 (048-471-7460) 観光インターンシップ担当 東 徹 (観光学部教授) 大槻容子 (観光学部教育研究コーディネーター)
------	--

道の駅「おくとろ」と立教大学との連携

道の駅「おくとろ」で夏期休暇を利用して立教大学の学生1名が観光PR実習を行います

【実施内容】

○若者にも魅力あるPR方法・内容の企画・提案

道の駅がある北山村は、世界遺産（文化遺産）である「紀伊山地の霊場と参詣道」の北側に位置しており、若者をターゲットとしたPR方法の企画提案

○いかに下りの『語り部』の実践

北山村の観光名物である「いかに下り」について、『語り部』の実践を踏まえ、若者目線での説明方法や内容を加える等さらなる魅力ある『語り部』のための提案と説明ビデオの製作

○外国人向けの北山村紹介、観光案内の企画・提案

道の駅おくとろ及び北山村には外国人向けの案内が無いため、外国人向けの観光案内を企画提案

○地域資源の掘り起こしチャレンジ

道の駅、おくとろ温泉での案内文作成、特産品「じゃばら」の市場拡大など、地域資源の掘り起こしに繋がる、様々な提案と実施をチャレンジ

【道の駅「おくとろ」】

秘境奥瀬の自然を満喫。北山村の情報発信基地

「道の駅 おくとろ」は美しい森林浴とダム湖水が見渡せる位置にあり、アウトドアやスポーツ、温泉施設、宿泊施設等北山村をまるごと楽しめるすべての要素が集まっています。

山間のドライブ途中の休憩所や観光の情報発信基地として、憩いの時を過ごす壮大なサービスエリアです。



「道の駅」と大学の連携 <就労体験型実習(インターンシップ)>

- 観光や地域づくりを学ぶ学生が、夏期休暇を利用し、「道の駅」で就労体験型実習(インターンシップ)を実施。
- 地域の魅力の集まる「道の駅」と、観光学等を学ぶ地域外の若者が交流することで、新たな価値の創造を図る。

実施イメージ



<期待される効果>

- 地域活性化の現場における将来の人材育成
- 若者の視点を活かした地域づくり、若者の元気による実行力のある企画の実施
- OHP作成やSNS等の若者のITスキル、情報ネットワークを活用した情報発信

※全国「道の駅」連絡会で双方のニーズをマッチング

これまでの実施例



「霧の森」(愛媛県四国中央市)

- ・地元イベントの企画立案、実施補助のほか、道の駅内で製造されている地元名産品の製造・販売の補助を実施。
- ・H25年度は10名受け入れ、うち7名は関西圏の大学から参加

- ・H15からこれまで約110名が実施
- ・そのうち2名が「道の駅」へ就職



大学生が企画したイベント



地元名産品「霧の森大福」

<就労体験型の実施スケジュール(予定)>

